

地域の会第14回運営委員会・第15回広報委員会 11月16日(火) 18:30~21:30

会場：柏崎原子力広報センター 2F 研修室

出席委員：新野・川口・佐藤・高橋・武本・渡辺(文)・渡辺(五)

欠席委員：今井・田辺

事務局：名塚係長・鴨下事務局長・木村

県外視察について

会長より

前回定例会において、今の時期に県外視察を実施する必要があるのかという意見と、視察も意義があるのではという意見が出たことを踏まえて、改めて実施をどうするかについて意見を出してもらいたい。

委員意見

- 地震後ということもあり、無理して行くこともないのではないか。
- 今から中止の決定をするのではなく、計画しておいてその場の状況に応じて止めることも考慮し、いちおうやるという方向でいいのではないか。
- 視察の時期としては、ほんとうは4、5月の頃のほうがいいと思う。
- 去年不参加で、今年参加しようと思っている人がいるとすれば、そういう人の気持ちをないがしろにできないのではないか。
- 計画しても参加する人数が少なければキャンセルということに。
- 予算等の事務処理に間に合うようなら、1月の時点で決定してもいいのではないか。
- メンバーが半分くらい参加できることを条件として、相手方の福島との連絡調整もしておく。
- 希望をとる場合、2つくらいの候補地が必要なのではないか。(福島と放医研とか...)
- 参加希望は全委員から回答をもらいたい。
- 定例会で出されたような、少数の意見も大変貴重な意見として大切にしていきたい。

決定事項

- 行き先は福島か千葉の放医研、時期は2月中ということで提案。全委員さんから回答をもらう。
- 事務局が先方にアポイントをとって、年末又は年明け早々に案内を出し、決定する。
- 12月1日(水)の定例会では、この決定事項の報告をする。

12月定例会について

内容

- 12月1日(水)午後6:30より開催
- 前回定例会でできなかったの委員から要請の資料説明(ビデオ含) 東電説明と質疑応答
 - 問題を投げかける側にも、どこが問題点なのかをわかりやすく説明してもらう。
 - 終わらない議題なので、お互いの主張と説明をして、それでまとめる必要がある。
- 前回定例会での未回答の質問に対する回答
- 地域の会への意見：福島のコクリート検査記録の不正に関連して地域の会として詳しく調査してはどうか 東京電力から説明してもらうこととする

任期満了に伴う委員の選出について

委員意見

- 会が、これからどういうレベルの話をしていくべきか、話し合う必要がある。
- 1月の懇親会では、親睦もかねて来年度の件も打診してみてもどうか。
- 会自体が継続するのかという、気持ちもある。
- 会議所の内藤委員が脱会し、年度内会議所からは代わりの方の選出はないとのことだが、オブザーバーとして参加してもらうことはできないだろうか。(原発を誘致したこともあり、地域の会で監視してもらいたいと思う。)

事務局

- 市としては2 / 3くらいの方には継続して委員をやってほしいと思っている。
- ソロプチミストは地域の会に参加しないことを表明している。各構成団体には継続して参加願いたい、委員改選に当たって一応確認してみる必要がある。
- 当初の委員の推薦団体は、地域や原発への賛否を考慮して行政で選んだもの。推薦団体が現状で良いかも検討願いたい。
- 行政はできるだけ、お金は出すが口を出さないようにしているが、手を引いたわけではない。委員の委嘱など今後とも行政でやるべきものは行政でやる。

情報誌について

内容

- 武田徹氏講演は、大枠で掲載。
- 災害時の通報に関する件を載せたほうがよい。
- 地震の件の東電とのやり取りを載せれば、市民はみんな関心を持って聞いてくれるのでは。

キーワード解説

- キーワード解説の、「発電所の耐震対策について」は、発電所が止まった理由、種類が違うので、あまり意味がないのではないかな。

表紙写真

- 防災訓練のリハーサルの写真でどうか。
- 表紙には、被災された住民へのお見舞いの言葉も入れたほうがいいのではないかな。

みんなの広場

- 渡辺(丈)委員と武本委員から推薦してもらった方に原稿を依頼。写真付きで。

編集後記

- 佐藤委員担当・・・600字以内にて。
- 今回は、渡辺(五)委員担当。

日程等

- 12月20日号・・・原稿は11月30日締切。
- 校正：12月 7日(火)
- 校了：12月10日(金)

次回運営委員会について

- 12月7日(火)6時開催・・・開催後、慰労をかねて運営・広報委員で懇親会をしたらどうか。後日、詳細連絡。